

事故のグループ懇談手法

人間科学研究部(安全心理)

井上 貴文



Railway Technical Research Institute

グループ懇談とは何か



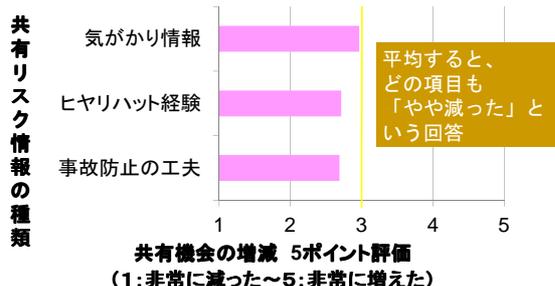
グループ懇談の様子

ファシリテーターを中心に、5、6人で事故やヒヤリハットについて**ワイワイ**話し合うもの



Railway Technical Research Institute

インフォーマルなリスク共有の実態

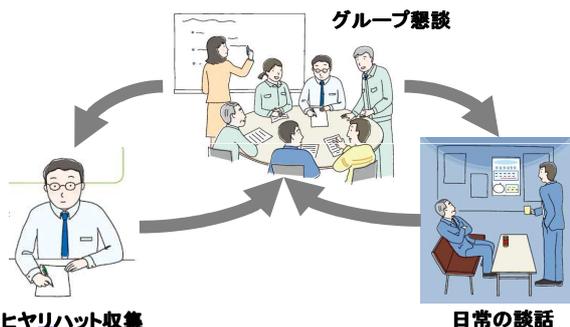


リスク情報共有の増減調査の結果 (鉄道事業者職員 84名)



Railway Technical Research Institute

グループ懇談が作る安全風土



ヒヤリハット収集

日常の談話



Railway Technical Research Institute

グループ懇談のやり方



グループ懇談の様子

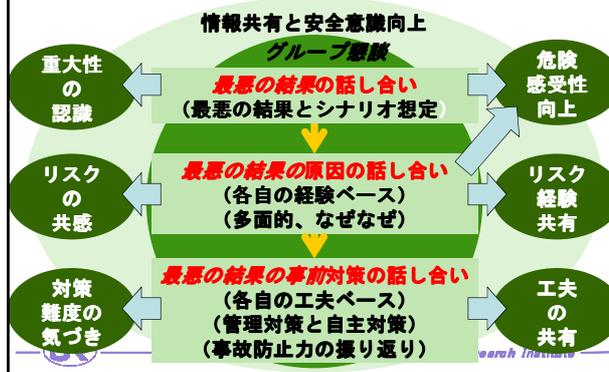
- 最悪どのような結果を招いていた可能性があるか
- 最悪の結果を引き起こす原因は何か
- 最悪の結果を未然に防ぐためには、どうしたらいいか (対策)

決まりはない!



Railway Technical Research Institute

グループ懇談の基本的枠組み



最悪の結果の話し合い (究極のシナリオ作り)

シナリオ例

作業	エラー	シナリオ	最悪の結果	
見張員は列車 進来方向を注 視	注視し ない	列車接近→ 線路内の機器・作業 員に接触・・・	脱線・ 転覆	死傷
停止位置不良 を指令に連絡 して退行	指令に 連絡し ない	後続列車を押しせず に退行→後続列車と 衝突	脱線・ 転覆	死傷



最悪の結果の原因の話し合い

見張員は、列車進来方向を注視していなかった

なぜ？

見張員はまだ列車は
来ないと思ったため

なぜ？

見張りダイヤを確
認していなかった
ため

なぜ？

作業を手伝っていた
ため

なぜ？

作業が遅れていたため



最悪の結果の対策の話し合い

管理対策

機器や環境の改良や手順や
制度の改正など、改善要求
的なものや理想的なもの

自主対策

意識づけや学習、やり方の
工夫など、自分たちが明日
からでも取り組める対策

特徴

重要だが他者依存的
(安全意識向上には弱い)
制限は自由な発想を妨害

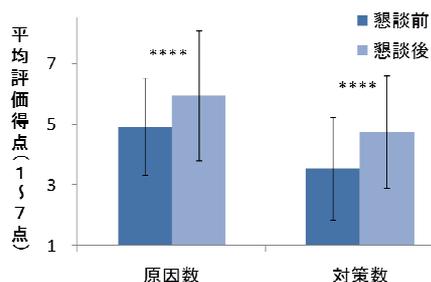
特徴

安全意識向上には重要
精神論に陥らないよう注意

2つの方向の対策を意識した話し合い



回答数変化



まとめ

- エラーの低減には、安全意識の向上が不可欠
- ハードウェアの落とし穴、リスク共有の不足によって、安全意識を保ちにくい。



グループ懇談で、リスクの共有を図る。
グループ懇談で、危険感受性を高める。
グループ懇談で、安全意識を向上させる。



グループ懇談マニュアル

